

2月の発電量は82億キロワット時(kWh)で、前年同月を2.6%下回った。

## 2013年2月の主要鉱工業製品の生産量

項目	単位	生産量	前年同月比	前月比	(増減: %、▲はマイナス)				
					項目	単位	生産量	前年同月比	前月比
石炭	千トン	2,906.9	▲ 26.6	▲ 27.3	レンガ	百万枚	1,043.1	▲ 12.8	▲ 24.4
原油	千トン	1,320.0	3.6	▲ 9.1	セメント	百万トン	3.5	▲ 9.0	▲ 23.9
天然ガス	百万立方メートル	840.7	1.9	▲ 10.5	鉄、粗鋼	千トン	167.0	▲ 35.3	▲ 35.1
液化石油ガス(LPG)	千トン	52.3	▲ 16.7	▲ 15.2	圧延鋼材	千トン	158.1	2.8	▲ 29.7
加工水産物	千トン	111.3	▲ 9.8	▲ 18.2	棒鋼(steel bar)	千トン	198.4	▲ 13.4	▲ 24.4
ミルク	百万リットル	48.9	▲ 17.7	▲ 19.3	携帯電話	百万台	9.1	3.1	▲ 20.2
粉ミルク	千トン	5.5	▲ 14.4	▲ 27.6	テレビ	千台	170.1	▲ 16.1	▲ 17.3
ビール	百万リットル	177.5	1.3	▲ 18.9	自動車	千台	5.2	▲ 30.6	▲ 30.7
たばこ	百万箱	388.2	▲ 15.8	▲ 16.5	乗用車	千台	3.4	▲ 34.8	▲ 33.3
天然繊維	百万平方メートル	17.9	▲ 26.5	▲ 30.4	トラック	千台	1.8	▲ 21.2	▲ 28.0
化学繊維	百万平方メートル	58.8	▲ 14.5	▲ 8.0	二輪車	千台	302.1	▲ 1.9	▲ 23.9
縫製品	百万枚	149.2	▲ 19.4	▲ 31.7	電力(発電量)	十億キロワット時	8.2	▲ 2.6	▲ 17.2
革靴・サンダル	百万足	14.8	2.7	▲ 27.8					
化学塗料	千トン	23.8	▲ 16.0	▲ 27.7					
シャンプー類	トン	3,608.0	▲ 21.0	▲ 38.2					

資料: 統計総局

## 【ベトナム—経済】

## 産廃物の活用を提言：ベトナム経済研2月例会

ベトナム経済研究所は26日、東京都内で2月例会を開催した。今回はエネルギー分野の専門家を招き、ベトナムでの廃棄物を活用したエネルギー事業の可能性に関する提言がなされた。また、同研究所の窪田光純所長が、2015年の東南アジア諸国連合(ASEAN)経済統合を控えたベトナムの在り方について、今年の例会で継続的に講演する方針を示した。

一方で、利便性の追求からさまざまな製品などを作ると必ずごみが出ることを、質量保存の法則によって説明。そのごみが都市を滅ぼしかねないという脅威について、河川がないために廃棄物や排泄物を街中に埋めざるを得なかった奈良の平城京がわずか74年間で長岡京に遷都されてしまったのに対し、鴨川のある京都の平安京が1,000年以上も栄えたのは「川という天然の下水道」に恵まれていたからとの仮説を紹介し、廃棄物処理の重要性を強調した。

国土の狭い日本は、埋め立てに適する土地も少なかったことから、焼却処分の技術が進んだという。八太氏によると、日本は焼却炉が1,500基もある「ごみ技術の最先端」の国。この燃焼エネルギーを用いた焼却発電も発達しているが、さらに焼却時のダイオキシン発生を抑えるため、廃棄物を熱分解発電などの促進を呼び掛けているという。

八太氏は、ベトナムで生活ごみが年2,000万トン、産業ごみが年8,000万トンの計1億トンの廃棄物が出ていると推測。これらの廃棄物で熱分解発電を行うことにより、ベトナム全体の電力需要1,100億キロワット時(kWh、2011年実績)の6.4%に当たる70億kWhの電力をまかなえると話した。

また、同国でのジャトロファやキャッサバ、もみ殻などを活用する栽培バイオマスの可能性にも言及。ベトナムの国土の10%を植物油田として熱分解発電のエネルギー活用を進めると、発電量は400億kWhと国全体の需要の36%を担えると述べている。

八太氏は、日本がごみ処理の費用節約にもつながる技術を輸出することで貢献できると発言。「ベトナムのエネルギー戦略と、日本にとっての産業戦略を重ねることが可能」と結論付けた。

講演を受け、ベトナム経済研究所の窪田所長が、「中部ダナン市がベトナムで初めて環境都市宣言を行った」とコメント。ダナン市のグエン・パー・タイン党委員会書記が来日した際に、八太氏の協力によって作成した廃棄物による熱分解発電の可能性に関する資料を手渡し、ダナン市側から好感を得ていることを明かした。



ベトナムでの産廃物のエネルギー活用を提言したオーストラランドの八太社長=26日、千代田区(NNA撮影)

メイン講師として「ベトナムのエネルギー産業の展望——産業廃棄物がベトナムのエネルギーとして活用される方法——」をテーマに講演したのは、ごみ・廃棄物の調査とリサイクル技術のコンサルタント会社オーストラランドで代表取締役社長を務める八太昭道氏。同氏の著書「ごみから地球を考える」は日本の小中学校の教科書に掲載されているほか、中国語や韓国語にも翻訳されている。

八太氏はまず、薪(まき)の燃焼や蒸気機関、エンジンなどを例に挙げ、「四大文明の時代から新たなエネルギー源を確保した人々が世界を支配してきた」と指摘し、

THURSDAY  
**28**  
February

28 February 2013 JIJI News Bulletin

主要通貨インタバンク 気配 27日 17:00JST  
1米ドル=20840.0ベトナムドン  
1円=226.63ベトナムドン

東京外国為替市場 27日 17:00JST  
1米ドル= 91.83~83円

VNI(ベトナム株価指数) 27日(前営業日比)  
465.72 (+0.67)

時事通信社 ハノイ支局  
#707 11 Tran Hung Dao, Hanoi  
TEL (84)4-3933-2661  
FAX (84)4-3933-2681  
hanoi@jiji.co.jp

<購読申込・配信先変更その他>  
時事通信社 香港支局  
TEL 852-2523-7112  
jiji@jiji.com.hk

<購読料お支払い先>  
ATC International  
atcinternational.co@gmail.com

JIJI News Bulletin  
**時事速報**  
VIETNAM



【JICA@VIETNAM】  
第8回 都市部のウォータースポーツ環境が大幅改善 8  
JICAベトナム事務所 長瀬利雄次長



【話題】  
8X世代の行方は?、若手実業家の辞任相次ぐ 10  
サコムバンク 創業者の息子ら



【インタビュー】  
「リスクなきところに成長無し」-タイ進出、危機超え成功 12  
東研サーモテック・川崎修代表取締役社長、川崎宏生産本部長

日本企業の  
ASEAN関係人事 14



マーケット情報  
クロスレート 21  
アジア通貨レート



インドネシア・バリ島のクタ海岸でくつろぐ観光客  
(26日、EPA=時事)

ベトナムトップニュース 3

## 投資優遇措置なければ事業拡張断念

### 外国企業の不満受け法改正へ.....3

ガソリンの小売価格値上げせず=ズン首相.....	3
店閉め売り 惜しみのガソリンスタンド、ハノイで相次ぐ.....	4
1億トンのゴミ、電力に=年間需要の6.4%に相当-ベトナム経済研究所.....	4
日本が南部病院の器材整備など5 案件を支援=計57 万ドルを無償供与.....	5

ベトナム経済・産業 5

アルミナ輸出向けケーガー港、開発中止に=建設が5年以上進まず.....	5
海外からの外貨送金、昨年は89億ドル=外務省とは大きな開き-中銀筋.....	5
5兆5240億ドンの国債発行へ=運輸・保健・部門などに資金を割り当て.....	6
1~2月の農林水産輸出が48億ドル超に=前年同期から31.5%のプラス.....	6
「コーヒー大使」を選ぶキャンペーン展開.....	6
労働安全・火災防止国家週間を来月実施.....	7
HAGL、ラオスのラテックス加工工場を稼働=ミシュランなどへ供給の可能性.....	7
ビナムルク、ベトナムの販売管理ソフトを使用へ.....	7

## 1億トンのゴミ、電力に=年間需要の6.4%に相当-ベトナム経済研究所

ベトナム経済研究所はこのほど都内で2月定例会を開いた。ゴミ処理コンサルタントのオストランド(本社東京都新宿区)の八太昭道代表取締役が講演し、年間1億トン排出されるベトナムのゴミをすべてバイオマス発電で電力に変えれば、同国の年間需要の6.4%を賄えるとの見通しを示した。事業採算性についても同氏は「ペイする(採算性がある)」と語った。

現在、ベトナムではゴミがそのまま捨てられるなどしており、エネルギーの原料としてはあまり活用されていない。八太社長は下水汚泥も含めてこうしたベトナムの廃棄物にはエネルギー化するチャンスが眠っていると指摘した。

同研究所によると、ベトナムで「環境都市宣言」をしているダナン市とオストランド社を結びつけて、具体的な事業化を模索する取り組みを既に始めているという。